古河電工

FURUKAWA ELECTRIC GROUP

HVDCケーブルの生産に係る設備投資について

2025年10月8日

古河電気工業株式会社

© FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
・急速な技術革新と当社グループの対応能力
・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

Agenda

説明

1. 本件の概要

2. 事業計画

3. エネルギーインフラ統括部門（電力事業）の成長戦略

4. ビジョン2030達成に向けた事業/製品展開

質疑応答

© FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.

1. 本件の概要

■ 2025年10月8日の取締役会において、HVDCケーブルの生産に係る設備投資を決議

1.設備投資の主旨

- 2025年10月7日、経済産業省のGXサプライチェーン構築支援事業の採択が決定
- 2050年カーボンニュートラルの実現を支える基幹インフラ構築の実現に貢献すべく 、最高電圧である500kV級のHVDCケーブル製造を目指す
- 今後もカーボンニュートラルの需要の広がりを見据え、アジアを中心とした海外展開を進めるとともに、世界最高水準の品質を目指す
- エネルギーインフラ統括部門（電力事業）の成長戦略の一環

2.設備投資の概要

- 当社拠点（千葉県富津市ほか）にHVDCケーブル製造設備、建物等を導入し、同ケーブルの製造販売を行う
  主な所在地： 千葉県富津市
- 投資総額： 約1,000億円（建物等取得費、設備費、システム整備費）

3.本投資による設備稼働開始日　2030年中（予定）

1. 本件の概要

4.GXサプライチェーン構築支援事業の採択内容

1)製品　　HVDCケーブル（完成品は500kV級の直流送電を可能とする装置）
2)補助率　　1/3
3)補助金総額　　約307億円（上限）
4)生産能力　　HVDCケーブル（500kV級の代表的なケーブル仕様）　200km/年
5)補助対象期間　2025年11月～2029年12月

5.業績へ与える影響

- 2026年3月期の連結業績に与える影響については軽微

HVDCケーブルとは

高電圧直流ケーブル

・交流送電に比べ、送電損失が少なく、長距離・大容量送電に適している
・主に海底に布設して、風力発電などの再エネを遠隔地から大消費地へ送る、
　地域間連系・導入拡大に貢献する重要な技術

2. 事業計画

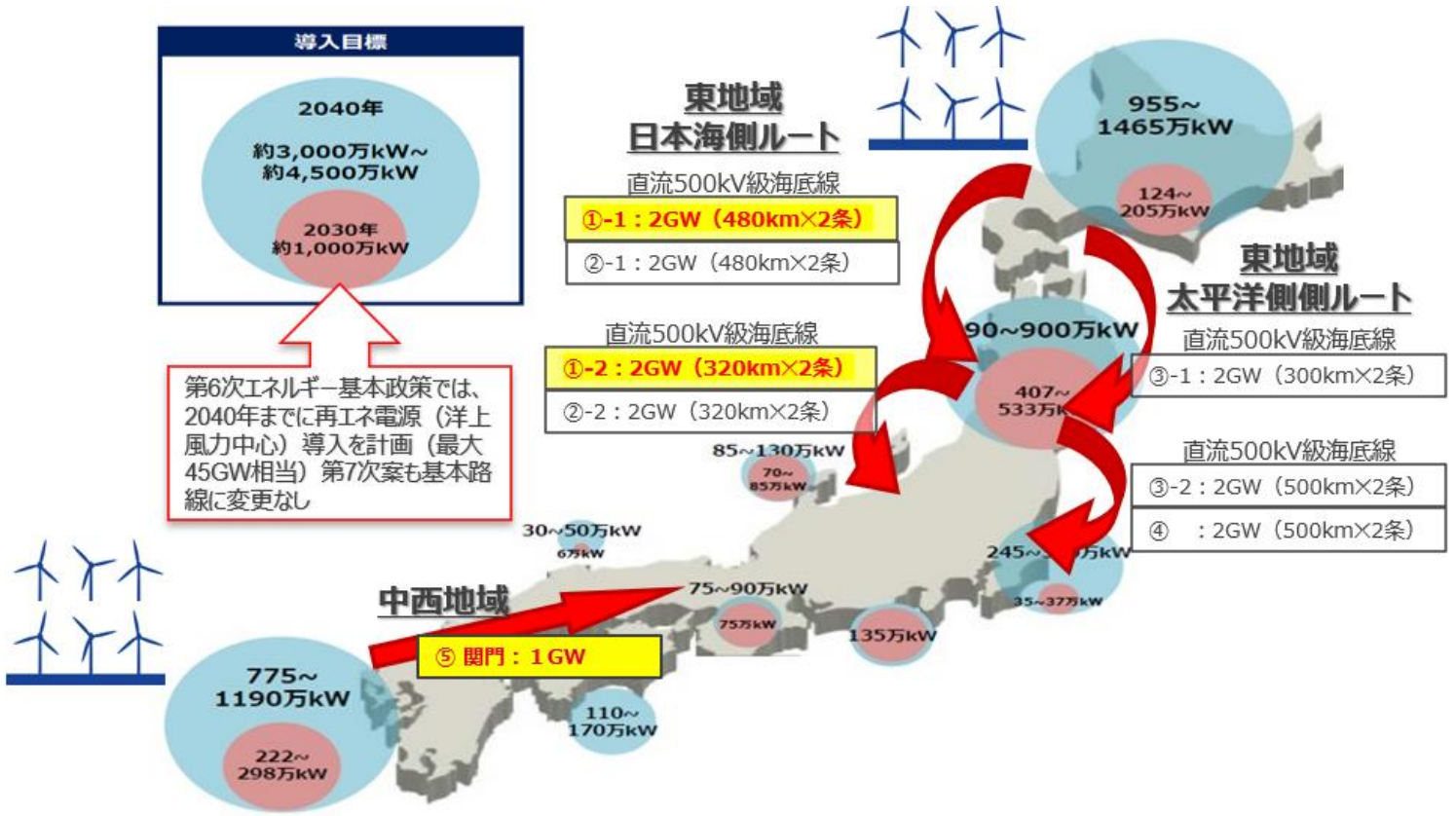
■ 広域連系線

HVDCを用いた広域連系海底線計画が進行中

・東地域連系（北海道～東北～東京間）
　送電容量 2GW
　海底線亘長 800km

・中西地域連系（関門）
　送電容量 1GW
　海底線亘長 40～55km

再エネ大量導入に伴う広域連系線構想

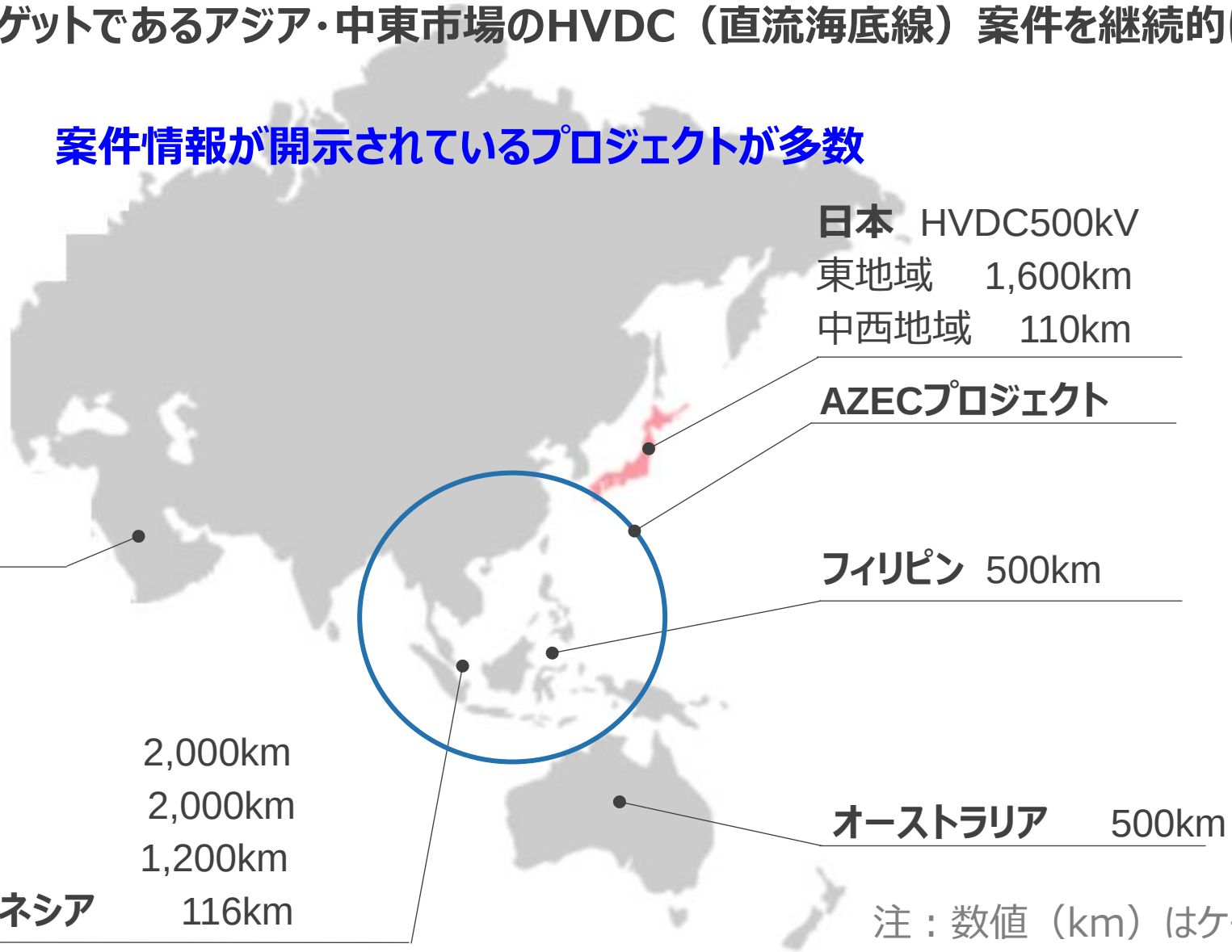


出典：「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」第2回（2020年12月15日）資料
※一部当社加筆

2. 事業計画

■ 海外展開　当社ターゲットであるアジア・中東市場のHVDC（直流海底線）案件を継続的に調査中

案件情報が開示されているプロジェクトが多数



中東
サウジアラビア
～インド　3,200km
～ギリシャ　2,400km
～エジプト　160km
アラブ首長国連邦　905km
カタール～イラン　400km

日本　HVDC500kV
東地域　1,600km
中西地域　110km
AZECプロジェクト

フィリピン　500km

シンガポール
～カンボジア　2,000km
～ベトナム　2,000km
～インドネシア　1,200km
マレーシア～インドネシア　116km

オーストラリア　500km

注：数値（km）はケーブル長

3．エネルギーインフラ統括部門（電力事業）の成長戦略

国内超高圧地中線

電力基幹系統強靭化（OFリプレイス含む）に貢献

国内再エネ地中線

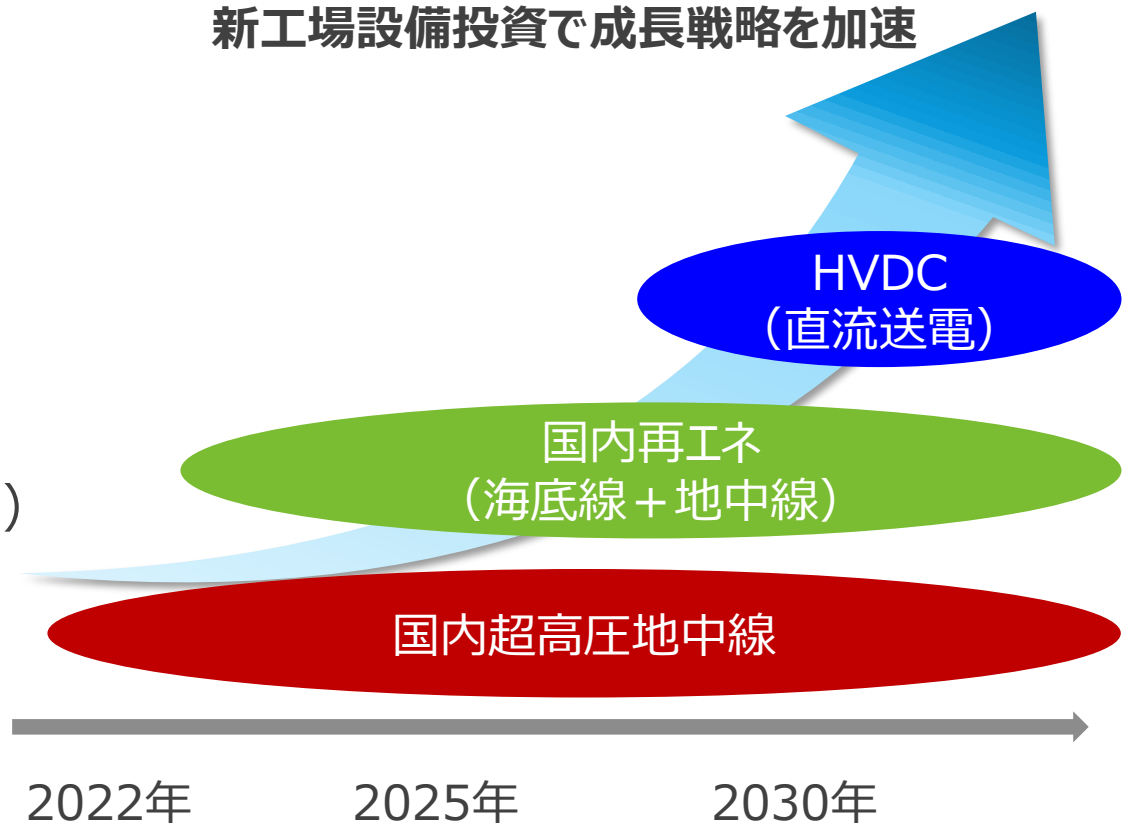
太陽光、陸上・洋上風力等再エネ向け地中線（自営線含む）に対応

国内再エネ海底線

大規模化し市場が拡大する洋上風力（一般海域案件へ展開）に貢献

HVDC（直流送電）

国内外の大型直流送電プロジェクト獲得により電力事業の更なる成長ドライバーへ



4．ビジョン2030達成に向けた事業/製品展開

ビジョン2030の達成さらにはパーパスの具現化により、さまざまな社会課題へ対応

フェイズ3

人と社会の「つづく」をつくる新規領域への挑戦

- レーザ応用（インフラレーザ® 、BRACE®）
- 医療部材・機器（NT製品、光プローブ、レーザ機器）

フェイズ2

エネルギーマネジメントによるサステナブルな社会実現への貢献（データセンタの高機能化と電動車対応）

- 再エネ海底/地中線、広域連系線
- グリーンLPガス
- 超電導
- 光電融合(ELS、メンブレン変調器)
- 高圧ワイヤハーネス/コネクタ
- 高圧部品/ジャンクションボックス

フェイズ1

データセンタの大容量化とそれを支える省エネソリューションの展開

- プリコンケーブル*（RRケーブル＋MTフェルール）
- DFBレーザチップ
- ヒートシンク
- 半導体製造用テープ
- HDD用アルミブランク
- 高周波基板用銅箔

*コネクタ付きケーブル

2025/5/21 25中計進捗説明会資料より再掲

ご清聴ありがとうございました

Thank you

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

© FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.

補足資料-Appendix

- GXサプライチェーン構築支援事業

© FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.

Appendix ：GXサプライチェーン構築支援事業

カーボンニュートラルを宣言する国・地域が増加し、産業競争力強化・経済成長を前提として脱炭素化も実現するＧＸに向けた長期的かつ大規模な投資競争が熾烈化しています。

このような背景の下、我が国における中小企業を含む製造サプライチェーンや技術基盤の強みを最大限活用し、ＧＸ実現にとって不可欠となる、水電解装置、浮体式等洋上風力発電設備、ペロブスカイト太陽電池、燃料電池、**HVDCケーブル**等をはじめとする、ＧＸ分野の国内製造サプライチェーンを世界に先駆けて構築することを目的としています。

公募概要

予算額：　約143,750,000,000円
※全領域の合計額。令和11年度までの国庫債務負担を含む。

補助対象：
HVDCケーブルを製造する工場で使用する設備機械装置、建物等取得費（新設、建て替え、リフォームを含む。）及びシステム整備費

補助率：　最大1/2

事業期間：　交付決定日～令和11年12月31日